

医療用「ぎふマスク」 一般向け販売へ

東洋産業 と ANTS JAPAN

燃(ねん)糸業の東洋産業(本社岐阜県輪之内町、安田洋一社長)と織維製品卸のANTS JAPAN(同岐阜市、村瀬公一社長)は、両社が共同で手掛ける医療用の「ぎふマスク」を一般向けに販売する。生活協同組合・コープぎふ(本部各務原市)に供給が決まり、近く店頭販売を始める。従来の岐阜県内の医療機関から一般に販路を広げるに当たり、生産能力を月産70万枚に増強した。

(岐阜・近藤直樹)

コープぎふに供給 生産能力を増強

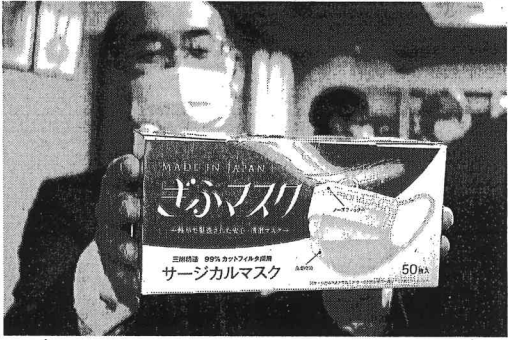
コープぎふは岐阜市に「P」が2月下旬から取り扱っているが、コープぎふで可児市、多治見市、恵那市の販売が事実上のスタートとなる。一般販売で県民の健康を守る。価格は50枚入り、税別1500円に設定する。

一般向けとしては、J R岐阜駅西の複合商業施設NTSの両社が昨年6月に開設した。医療従事者向けに生産販売アンテナショップ「TH」に乗り出した。ANTSが不織布の調達、東洋産業が製造を担う。不織布は中国製だが、医療現場の声をもとの改良を進め、飛まつ拡散防止機能やフィット感を高めてきた。岐阜信用金庫や県などが事業を支援し、岐阜県産マスクとして一般への普及も視野に入れている。

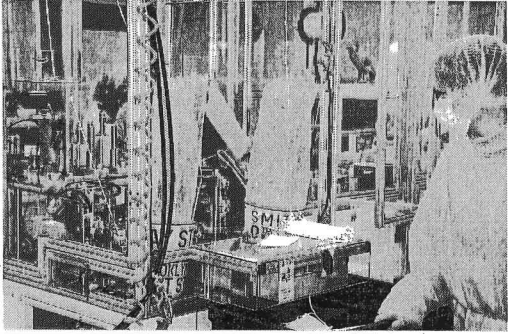
一般向けの展開に対応し、東洋産業は生産能力を増強。輪之内町にあるマスク工場、検査にも時間をとられ、ク工場の製造設備を日本製に切り替え、月産70万枚の能力を確保した。従来は中国製設備で同35万枚の能力だったが、品質に問題がある係者は「一般向けを合わせ



- 岐阜支社
岐阜市柳ヶ瀬通 1-12
岐阜中日ビル8階
電話 058(266)7576
FAX 058(262)6571
- 東濃支局
多治見市上野町 1-75
日映マンション III602
電話、FAX兼用 0572(23)7812
- 西濃支局
大垣市室本町2の39竹中ビル203号
電話、FAX兼用 0584(75)1289



品質が高く医療用に展開される「ぎふマスク」



日本製設備に切り替えた東洋産業のマスク工場

月間50万枚の販売を目指す」とし、今後に向けては「国産不織布で肌に優しい高品位マスクのラインアップを計画している」と話している。